

山村文化の息づくところ

岐阜県立森林文化アカデミー

津田 格

以前、このコラムにおいて岐阜県内で利用されている野生キノコは30種類以上にのぼることを紹介しました。キノコをはじめとする特用林産物の重要性をお伝えしたのですが、その数の多さについては特に触れませんでした。しかしこの数は他県と比べると非常に多く、岐阜はキノコ好き(岐阜の方言で言うならば「こけ」好き)県といえます。お隣の長野県や北関東、東北地方もキノコ好きな地域です。

一方、近畿以西の西日本では、それほど好んで野生キノコを食べることはありません。茸狩りと称して採りにいくのはマツタケかホンシメジで、それらが採れなければ行きがけの駄賃として同じ松林に出るハツタケやアマタケを採って帰るくらいです。もちろんシイタケのような誰でも知っているキノコを山で見つけたら採るでしょうが、わざわざ採りにいくようなことはあまりしません(原木栽培の収穫は別です)。

こうしてみると、岐阜県は地理的には西と東の中間に位置していますが、(特にキノコに関する)食文化の面では東日本の色あいが濃いように思います。

とはいうものの、そんなに野生のキノコを食べているかなあ?と首を傾げる人もいるかもしれません。実は、岐阜県内でも野生キノコをよく食べる地域とあまり食べない地域があるのです。一般的には飛騨地方、それから東濃地域が特にキノコを好んで食べる土地だとされています。知っている人には何を今更という感じですが、少しそれらのキノコを紹介しましょう。

朝顔の花のような形で、内側にとげ状の突起があるのはコウタケ(写真左上)です。飛騨では「じこう」、東濃では「かわたけ」と呼ばれています。干すと真っ黒になりますが香りが強くなり、良い出しが出ます。炊き込みご飯や煮物にすると美味です。実習で朝市等を毎年見て回りますが、2010年は豊作で普段より安価で出回っていました。このキノコに限らず、野生キノコは年によって豊凶があり、それもまた楽しみのひとつかもしれません。

黒色ののっぺりとした傘をしているのはクロカワ(左下)です。岐阜では「ろうじ」と言った方が通じるで

しょうか。傘の裏側は白色で普通のキノコにあるヒダはありません。このキノコには苦味があるのですが同時に旨味もあり、酒のアテとして好まれます。焼いておろし醤油というのが定番です。

長めの柄にこんもり丸い傘のキノコはショウゲンジ(右上)です。飛騨では「たいこのぼち」、東濃周辺では「ずぼ」「ごんすけ」等と呼ばれています。飛騨の方言は形状からの連想ですが、東濃の二つは何でしょうね。虚無僧の深編笠からの連想で「こむそう」「ぼうす」と呼ばれることもあります。和名のショウゲンジもお寺の名前が由来とされています。口当たりもよく、おいしいキノコです。

上記3種は、里山の広葉樹林やアカマツ林のキノコですが、ブナやミズナラの林のキノコも紹介しましょう。これらの林のキノコと言えばマイタケやナメコが代表的ですが、ムキタケ(右下)も外せません。飛騨で「もくだい(むくだい)」と呼ばれ市場に並びます。値段も高くなく、鍋や汁物に入れると出しをよく吸い、おいしいものです。高山出身の学生に「けいちゃん」と一緒に炒める食べ方を教えてもらいましたが、それも美味です。

次に紹介するのは…、キリがありませんね。

しかしながら、こういった山の幸を利用する山村の文化は、食生活の変容や中山間地の過疎化により、多くの地域で失われつつあります。さらに昨年の原発事故による放射性物質の汚染地域では、地域文化そのものの存続が危ぶまれています。

ひとつのキノコに限って言うと、福島県周辺ではツチグリというキノコの幼菌を「まめだんご」と呼んで食べていました。このキノコは東南アジアでも食用にされているのですが、日本においてはこの地域だけとっていいくらいの稀有な食習慣です。これまでの報道等でご存知の方も多いかと思いますが、地面から生える野生キノコは放射性セシウムを蓄積しやすいものが多く、残念なことにこのツチグリも例外ではありません。福島におけるツチグリの利用を現在形で紹介したいのですが、それは現状を楽観視しているようで憚られ、かといってこのように過去形で表現するのも残念なような申し訳ないような気持ちが入り交じって何ともいえない思いになります。

私たちが住んでいる岐阜も含めたそれぞれの地域で、こういった山村文化が無形の価値を持つものとして今後も無事に日常生活の中で息づき続けていくことを願ってやみません。森林文化アカデミーでは山村の文化を受け継ぎ、さらに山村の活性化に生かしていく一助とすべく様々な取り組みをしています。今年もまたいつものように春が訪れ、多くの入学生を迎えます。アカデミーはこれからも彼らと地域とともに歩み続けます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL(0575)35-2525 森林文化アカデミー まで



▲コウタケ

▲ショウゲンジ

▲クロカワ

▲ムキタケ